

「里山再生モデル事業」事業計画
(伊達市：雨乞山)

平成 28 年 12 月 22 日
復興 興 庁
農 林 水 産 省
環 境 省

1. 本事業の目的

雨乞山自然道周辺の森林の除染や間伐等の森林整備を行うとともに、空間線量等測定により放射性物質等の状況を把握し、自然道の利用者や地域住民の安心・安全に向けて環境づくりを目指す。

また、本事業の成果について、原子力災害を受けた里山の再生に寄与するものとする。

【現 状】

- モデル地区となる雨乞山(標高 353m)は、山頂から吾妻山や安達太良連峰、霊山などを展望でき、雷神神社の祠があり、地域の人たちから大切にされてきた。
- 平成 15 年に雨乞山自然道(総延長約 6km)が整備され、花見、山菜・野生きのこ採取、散策などに利用されてきた。
- モデル地区内の森林は、薪等を採取する集落の共有財産として活用されていた。
- 原発事故以降、森林の整備は行われず、地域住民から自然道の除染や森林整備の要望がある。
- 伊達市は、平成 24 年 3 月に「伊達市復興ビジョン」並びに「伊達市復興計画」を策定し、放射性物質による環境汚染の解消を目指すとともに、研究機関と連携して、独自に里山の放射性物質対策についての研究も進めている。

2. モデル地区の概要

位 置：伊達市保原町大字富沢字雨乞地内ほか「雨乞山」

区域面積：約 95ha うち森林約 76ha(民有林(私有林))

利用の方向：市民の休養の場としての利用を促進する。

3. 事業実施期間

平成28～31年度

4. 事業実施主体

伊達市

5. 事業内容

本事業は、以下の各事業を組み合わせる実施することとする。

(1) 雨乞山自然道周辺の森林の除染

雨乞山自然道において、福島県民健康管理基金（除染対策事業交付金）を活用し、除染を実施する。

除染の範囲及び手法は、地元住民、登山客等の利用状況を踏まえ、山頂、雷神神社及びその周辺、登山道の入口周辺の広場等の堆積物除去を予定。

具体的な除染の実施箇所・手法については、各事業と調整して決定する。

(2) 間伐等の森林整備

ふくしま森林再生事業を活用し、間伐等の森林整備を実施する。具体的な森林整備の内容や実施区域は、森林の状況等詳細な調査を実施した上で決定する。伐採木は搬出して利用することを基本とする。

(3) 線量マップの作成など各種線量測定

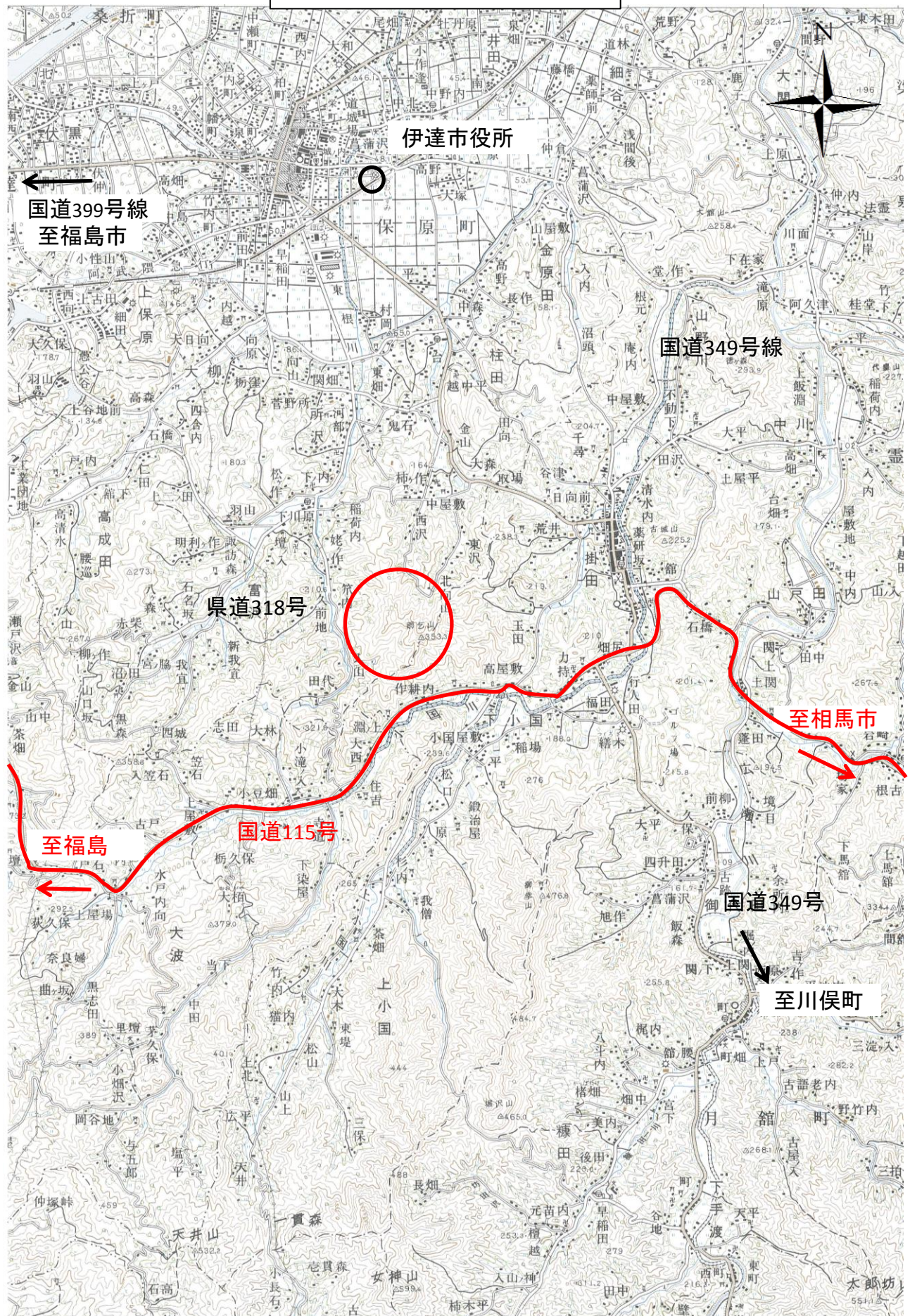
福島再生加速化交付金（帰還環境整備）「個人線量管理・線量低減活動支援事業」（内閣府）を活用し、当該モデル地区の線量マップの作成について検討する。

6. 事業工程（予定）

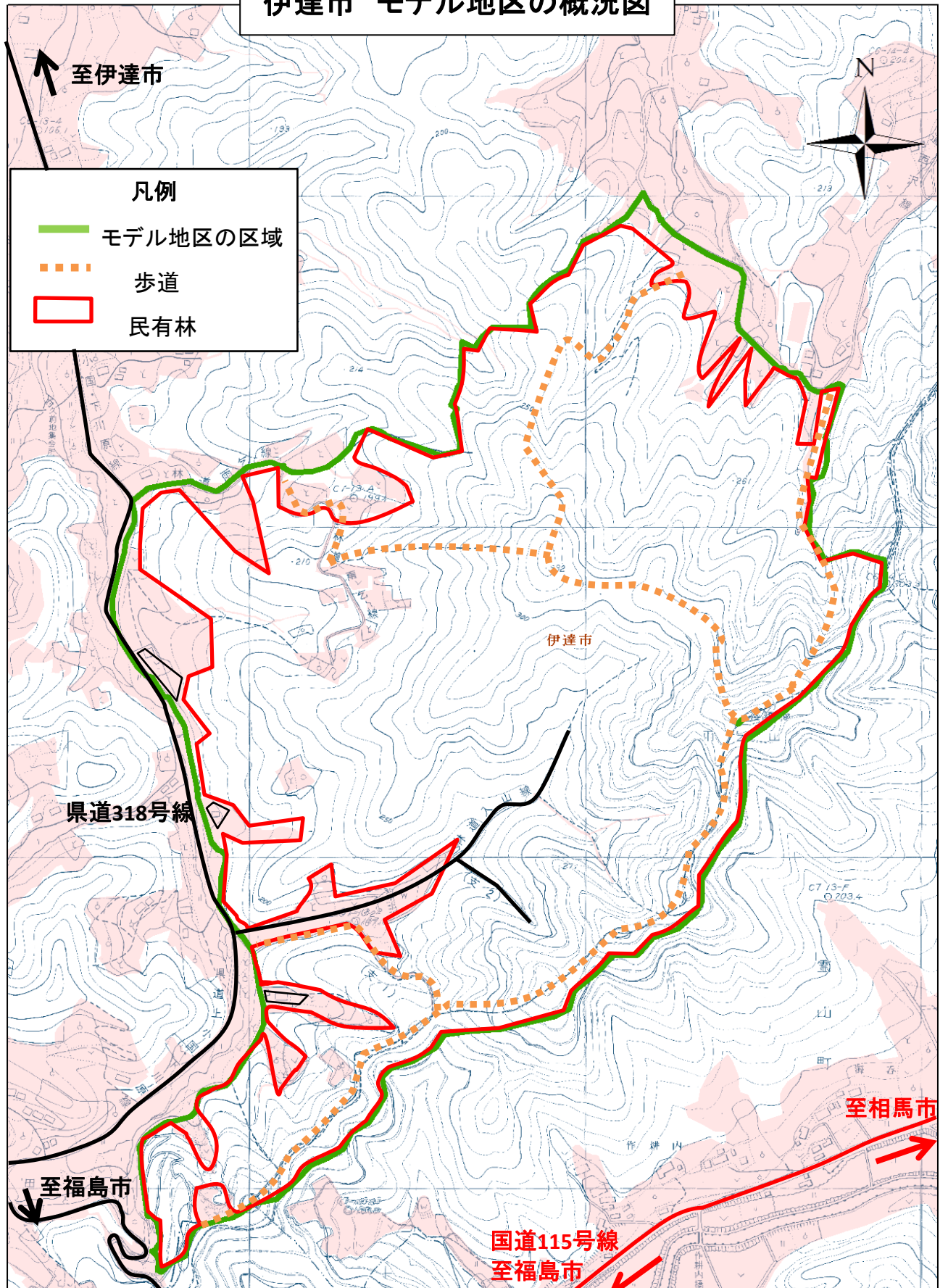
下記の事業工程（予定）で各事業を進めていく。

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
除染	詳細調査・除染範囲決定 →	除染等の実施 →	事後の線量測定等 →	事後の線量測定等 → 効果の検証・取りまとめ →
森林整備	→	森林整備等の実施 →	→	→ 取りまとめ →
線量測定	事業内容の調整・決定 →	測定等 →	→	測定等 → 取りまとめ →

伊達市 位置図



伊達市 モデル地区の概況図



1/8,200

伊達市 モデル地区の概況図



1/8,200

モデル地区写真資料 (伊達市：雨乞山)

(写真 1：森林公園登山口の状況)



(写真 2：雷神神社周辺の状況)



(写真3：山頂の状況)



(写真4：登山道の状況)

